

高等学校における新学習指導要領に対応した英語指導法

小 倉 美津夫

日本福祉大学 国際福祉開発学部

English Teaching Methods to Realize the Objectives of the New Course of Study for Senior High Schools

Mitsuo OGURA

Faculty of International Welfare Development, Nihon Fukushi University

Keywords : 高等学校, 新学習指導要領, 英語指導法

Abstract

In March 2009, the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (Mext) announced the New Course of Study for Senior High Schools, which will be implemented in 2013. The Mext changed the former subjects, Oral Communication I, Oral Communication II, English I, English II, Reading and Writing into Basic Communication English, Communication English I, Communication English II, Communication English III, English Expression I, English Expression II and English Conversation. The main points of the change are the following:

- A. Since the experience of using English is the aim, the classroom should be seen as a place where actual communication takes place. For this reason, classes should in principle be conducted in English.
- B. In order to develop integrated skills in communication through the learning of a foreign language, teaching materials should incorporate authentic language-use situations and suitable language functions, chosen in line with the objectives of each course. Topics should relate to subjects such as the everyday life, manners and customs, tales, geography, history, traditional culture, and natural science of people around the world, especially of people who use the language, and of Japanese people. The topics should be varied to suit the students' stages of development, interests, and concerns.
- C. Grammar should be taught as supporting communication, and should be integrated effectively with language activities.
- D. In presenting necessary words, phrases, sentence structures, and grammatical structures, practical usage should be emphasized, rather than grammatical terminology and rules.

As soon as the New Course of Study was announced, there were heated debates on conducting English classes in English. This paper aims to clarify the problems caused by the phrase 'classes should in principle be conducted in English' and what the practical problems are, and present various solutions to the problems, showing some examples of the techniques of English teaching.

Keywords : senior high schools, the New Course of Study, techniques of English teaching

1. はじめに

2009年3月に高等学校学習指導要領が発表されてから、4年が経ち、全国の高等学校では、今年度から新学習指導要領が学年進行で開始されている。現在の1年生が該当している。新学習指導要領が発表されるとすぐに、高等学校の英語教員のみならず、全国の中学校英語教員や英語教育機関などは、「授業は英語で行うことを基本とする」という点に注目し、学会や英語教育誌や新聞紙上で賛成意見や反対意見が出され、議論が沸騰した。しかし、2013年4月から大多数の高等学校で英語の授業を大半は英語で行い始めた。いざ英語で授業を始めると、これまでの講義形式からの脱却ができず、英語教員中心の、一方通行の、英語教員が英語で話しまくる授業になっている。これは、英語教員が生徒であった時に英語で授業を受けた経験がないことが大きな原因であることと、校務の忙しさから「英語で授業を行う」研修の時間がなかなかとれないことも原因となっている。

2. 研究の背景

2009年から現在に至るまで英語教員研修の講師を数多く務め、その時々において英語教員から出てきた言葉は、「本当に英語で授業ができるのか」、「英語で授業をしたことがないからどのように授業を行ったらよいかわからない」、「英語で授業を行うと、文法はどうなるのか」などいろいろな疑問や不安ばかりであった。その疑問や不安の解決のために、毎年英語教員のためのワークショップ、たとえば、県総合教育センター主催の「10年経験者研修」、県教育委員会主催の「授業づくり研修」、「教員免許更新講習」、各高等学校からの依頼を受けての「校内研修」、などで講師を務め、英語で授業を行う理論と実践の指導および支援を続けてきている。その指導内容が多く英語教員の求めているものと合致していたことから、これまでに彼らに紹介してきた言語活動を重視した英語指導法をこの研究としてまとめていくことが必要と考えた。

3. 文部科学省高等学校新学習指導要領と国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策

3.1 新学習指導要領

文部科学省から2009年3月に高等学校学習指導要領が発表され、科目の改訂、語彙数の増加、英語によるコ

ミュニケーション能力育成の強化が注目に値するものである。なかでも、新学習指導要領では、英語によるコミュニケーション能力育成のために「授業は英語で行うことを基本とする」と規定されている。

1998年の学習指導要領ではすでに英語でのコミュニケーション能力育成を謳っていたが、日本全国の高等学校の教室では英語で授業が行われている事例はきわめて少なかった。「授業は英語で行うことを基本とする」と規定したのは、現状打破と真の意味での英語が使える日本人を育成するという覚悟があったからと考えられる。

3.2 国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策

2011年6月に、新学習指導要領を踏まえ、生徒の外国語能力、とりわけ英語力の向上のために具体的な成果をあげるべく、2016年度の達成をめざした5つの提言とその具体的施策を文部科学省は発表した。

その中で、「求められる外国語能力とは」に、「グローバル社会で求められる外国語能力とは、異なる国や文化の人々と外国語をツールとして円滑にコミュニケーションを図ることができる能力と言える。円滑にコミュニケーションを図ることができる能力とは、例えば、異なる国や文化の人々と臆せず積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、相手の文化的・社会的背景を踏まえた上で、相手の意図や考えを的確に理解し、自らの考えに理由や根拠を付け加えて、論理的に説明したり、議論のなかで反論したり相手を説得したりできる能力などが上げられる」とある。また、さらに付け加えて、「このようにコミュニケーション能力を育成するためには、講義形式の授業から、例えば、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどを取り入れることにより、生徒の言語活動を中心とした授業へと改善を図る必要がある」と具体的に授業方法についても言及がなされている。

4. 高等学校における英語指導法の現状

4.1 英語教員の意識調査結果

2010年1月、2012年1月、2012年7月に、合計して、高等学校英語教員131名に意識調査を実施した。質問の大項目は、「研修について」と「授業について」である。

4.1.1 よく行っている授業は何か。

よく行われている授業を4つに分けて、ベスト1を選んでもらった結果が表1である。

表1 よく行っている授業 (%)

	ベスト1
文法の授業	20.8
読解・和訳の授業	64.5
聞く・話すを中心とした授業	33.8
自己表現活動を中心とした書く授業	5.0

この表からもわかるように、ベスト1に選んだものの中で、従来から行われている「読解・和訳の授業」(64.5%)が最上位であり、「聞く・話すを中心とした授業」や「自己表現活動を中心とした書く授業」のコミュニケーションに関わる活動はあまり行われていないことがわかる。

4.1.2 授業内で定期的を使用している活動は何ですか。

定期的に活動をしているものを22活動を提示し、その中から複数を選んでもらった結果が表2である。

表2 授業内で定期的を使用している活動 (%)

pair work	32.1
translation	29.8
drilling	19.0
blank filling	16.0
dictation	13.7
group work	11.5
intensive reading	9.2

この表からもわかるように、コミュニケーション能力を育成するための言語活動が十分行われているとは言えない。リスニング、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの活動は皆無であった。また、教師と生徒の間でのQ&Aを行えば、コミュニケーションをしているのだと勘違いしていることが多かった。

4.1.3 あなたは英語だけで授業をすることができますか。

新学習指導要領に、「授業は英語で行うことを基本とする」と規定されていることから、この質問を設定した。

結果は表3のとおりである。

表3 英語だけで授業をすることができますか。 (%)

できる	9.9
たぶんできる	44.1
たぶんできない	39.6
できない	2.7
する気はない	3.6

この結果からわかるように、英語で授業を行うことができる英語教員の割合は、「できる」と「たぶんできる」とを合わせて54%であった。「できない」と「たぶんできない」と回答した割合を合わせると、42.3%で、中には、新学習指導要領に規定されていても「英語で授業をする気はない」と回答した割合が、3.6%あった。

「できない」と「たぶんできない」と回答した代表的な理由を以下に列挙する。

- ・英語で授業をする自信がない。
- ・英語での授業を受けた経験、観た経験がない。
- ・普段から英語を授業内で使ってない。
- ・文法の説明を英語でするのは難しい。
- ・自分の伝えたいことを正確に伝えられる英語力が自分に備わっていない。
- ・生徒が英語の説明だけで理解可能か疑問である。
- ・英語を英語で教えた経験がない。

多数の英語教員が記述式で回答した理由は、ここに挙げた7つの理由に収斂される。これは、英語教員の英語力に主な原因があると考えられる。

4.1.4 あなたは授業準備以外に現在からさかのぼって1年以内から継続的に何らかの研修をしていますか。

英語で授業を行う自信があるもの以外は、英語力に問題があると回答者たちは認識しているので、研修について(特に自己研修)自信がないものに調査してみた。結果は、表4のとおりであった。

表4 継続的に研修をしていますか。 (%)

している	53.3
していない	46.7

この結果からわかるように、英語力に疑問があるにも

かわらず、研修をしていない回答者が46.7%もいた。英語教師の英語力の向上、授業力の向上、教科書で扱うテーマに関わるさまざまな情報や知識の増加などは残念ながら望むことができない。

5. 文部科学省「英語が使える日本人」の育成のための行動計画 英語教育改善のためのアクション

文科省は10年前の2003年3月に「英語が使える日本人」の育成のための行動計画を策定した。「英語教育改善のためのアクション」を示し、目標として、「英語を使用する活動を積み重ねながらコミュニケーション能力の育成を図る」を掲げ、具体的な目標として「英語の授業の大半は英語を用いて行い、生徒や学生が英語でコミュニケーションを行う活動を多く取り入れること」、「高等学校の授業で少人数指導や習熟度別指導などを積極的に取り入れること」、「地域に英語教育に関する先進校を形成すること」が出された。

これらの具体的目標に基づいて、高等学校の授業における英語担当教員の英語使用状況の調査が2010年度(平成22年度)に行われた。平成22年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査によれば、「オーラルコミュニケーション」(普通学科)の授業において、発話のほとんどを英語で行っていると回答した割合は、19.6%、「オーラルコミュニケーション」(普通学科)の授業において、発話の半分以上を英語で行っていると回答した割合が、32.8%で、両方合わせても約5割の学校しか目標が達成できていない。「英語」の科目に至っては、発話のほとんどを英語で行っていると回答したのは、わずか1%、発話の半分以上を英語で行っていると回答した割合は、8%でしかなかった。

現在までこれらの目標が十分達成できていない大きな理由の一つに、英語教員の英語力の低さと教授力の未熟さがあげられる。「英語が使える日本人」の育成のための行動計画の中に、「英語教員の指導力向上および指導体制の充実」として、次のようなことが述べられている。「概ねすべての英語教員が、英語を使用する活動を積み重ねながらコミュニケーション能力の育成を図る授業を行うことのできる英語力」を、英検準一級、TOEFL550点、TOEIC730点程度以上、および教授力と定義している。平成22年度公立高等学校における教育課程の編成・実施状況調査によれば、英検準一級等以上を取得してい

る英語教員は、全体の48.9%にしか上らない。

6. 英語教員が抱える諸問題

英語教員が抱える諸問題として、英語教員自身の英語力、英語指導法の未熟さ、英語教員の研修不足などが考えられよう。若年教員のなかには、英語で授業を行っているものもいるが、少数である。英語で授業を行いたいができないと考えている英語教員たちが、意識調査のなかで述べている理由を挙げると次のようであった。

- ・学校の方針と異なるから。
- ・年配の先生方が歩調を合わせてくれない。
- ・定期試験が統一問題である。
- ・現在の教科書では英語 only ではできない。
- ・1年間で教科書を終えないといけない状況下では時間が足りない。
- ・生徒指導等授業以外の仕事で多忙であり、英語で授業をするための準備時間がとれない。

7. これからの英語指導法のあり方

7.1 実践的コミュニケーション能力育成のための授業改善

高等学校の英語教員たちに協力を得て、コミュニケーションを重視した英語の授業を実践してもらった。英語で授業をすることを基本とし、教員が英語で指示を与えたり、説明したりする時、および生徒がその指示や説明を理解し、コミュニケーション活動をしやすいように、補助教材として多くのワークシートを作成・活用した。学習指導案も内容や授業の進め方が具体的で、どの英語教員が見てもすぐに理解ができ、現在英語で授業をしている教員だけでなく、していない教員やしたいがどう行ったらよいか戸惑っている教員たちにも、実践に移しやすいように工夫した。

図版1の学習指導案の授業の実践報告は、次のようであった。

- ・パラグラフリーディングによる本文の要約
各パラグラフの第1文にアンダーラインを引かせ、トピックセンテンスとした。アンダーラインの文章をつなげると、本文の概要が把握でき、内容理解や速読には大変有効であった。特にスローラーナーにとっては、本文の概略を要領よく把握することができた。トピックセンテンスのキーワードをつなげることにより、本文の要約を完成することができる。

AETにも協力してもらい、本文の要約をリライトしてもらった。

・音読について

コーラスリーディングだけでなく、パートごとにバズリーディングやシャドウイングを取り入れることにより、生徒を飽きさせず音読練習に集中することができた。テンポよく大げさに強弱をつけてリズムカルに教員が読むと、生徒もつられて大きな声で音読ができた。

	すること。	する。 5人ほどのグループに分け、グループ内で発表してから、代表者をクラスメートの前で発表させる。	くる) グループで発表し、代表になった生徒はクラスメートの前で発表する。	て暗唱し、上手にプレゼンテーションする力)	なかった
	【オーラル・プレゼンテーション】 自分の意見を生徒の前で発表する。	本文の内容に関する自分の意見と感想を100語程度の英語で書かせる。 まずグループで発表させ、優秀な生徒を全体で発表させる。簡単なスピーチコンテストをさせる。 生徒が書いた英文の添削はAETの協力を得る。	意見と感想は家庭で書く。文章の展開は、まず自分の意見を述べ、その後理由を述べる文章を付け加えること。 友人の発表を聞き、評価シートに記入する。 【ワークシート5】 【Evaluation Sheet】	パブリック・スピーキングの力 友人のスピーチを評価する力	A:クラスメートの前でうまくプレゼンテーションができた B:何とかできた C:プレゼンテーションがうまくできなかった

6 ワークシートの例
【ワークシート1】

Today, we are going to learn about water.
Do you think water is important? Why is it important?

What do you think is the percentage of water in the human body?
Guess the percentage?

How much water do you think do watermelons have? What percentage?

How do you take in water?

In this lesson, we'll learn a lot about water. Let's read the lesson!

【ワークシート2】

Fill in the blank in English. (Topic Sentences)

If you weigh sixty kilograms, the amount of water in your body is () kilograms.
To stay healthy, you need to take in at least () liters of water every day.
Different () have different water requirements.
Another animal that needs little water is a ().

When you look at the world map, you can see a huge amount of () on it.
You now know that your () mainly consists of water and that without water, you cannot ().

【ワークシート3】

次の語(句)の意味を前後関係から推測して書きなさい。(パート1)

- kilogram(名) ()
- amount(名) ()
- the amount of ~ ()
- substance(名) () →アクセント注意
- make up~ ()
- thirsty(形) () →名詞形は **thirst**
- feel thirsty () →自分の体調を伝える表現
- skin(名) ()
- shrink(動) ()
- muscle(名) () →発音注意 cは発音しない
- survive(動) () →名詞形は **survival**

【ワークシート4】

本文の内容を考えて、質問に英語で答えなさい。

1. What happens if you lose five percent of your body's water?

2. How do we absorb half the amount of water we need to take in every day?

3. Why does a camel need little water?

4. What should we stop and consider now?

【ワークシート5】

本文の内容に関する自分の意見と感想を100語程度の英語で書きなさい。

(例) あなたが普段、水を節約するためにしている工夫について

I don't let water run while I am brushing my teeth. I use a large cup. Once it is full, I turn off the water. After brushing my teeth, I just use the water in the cup to rinse my mouth out.

【図版1】

5 指導案 1時間目(導入)

過程	時間(分)	【指導内容】 指導上の留意点	教師の活動	生徒の活動	本時でつきたい力	評価・達成度ABC
導入	15	【内容理解】 より多くの理解可能なInputを与えながら、生徒の想像力を活性化させ、テーマを浮き彫りにする。	口頭による英語の質問をする。 英語の質問に出てくる単語は、写真や絵などを用意し、視覚に訴えることで理解の助けとする。	口頭による英語の質問に答えること。 その後で、本文の内容に関するワークシートを完成させる。	英文を聞いて、本文の概要を素早く理解する力	A: 8割正確に答えた B: 5割正確に答えた C: 正解が3割以下
展開	25	【パラグラフリーディング】 パラグラフリーディングの方法を説明し速読には有効であることを認識させる。	各パラグラフの第1文にアンダーラインを引かせ、それを便宜上トピックセンテンスとする。	トピックセンテンスにおけるキーワードをピックアップする。意味のわからない単語に波線を引き文脈から推測する。	トピックセンテンスから、本文の概略を把握する力	
まとめ	10	【まとめ】	トピックセンテンスを使った要約文のキーワードを完成させる。	要約文のワークシートを完成する。 【ワークシート2】	パラグラフリーディングから内容理解をする力	

2時間目~6時間目(音読・読解)

過程	時間(分)	【指導内容】 指導上の留意点	教師の活動	生徒の活動	本時でつきたい力	評価・達成度ABC
導入		【復習】 前回のポイントの確認	前回の重要事項をもう一度確認させる。	重要事項の復習		
展開		【語彙・表現指導】 新出語(句)については発音記号を書かせるなどして音声面からの訓練もさせる。	あらかじめ生徒に渡しておいた予習プリントを用いて1課全体の新出語(句)を理解させる。	新出語(句)を中心にプリントを用いて確認すること。	英語を正しく発音する力	A: 上手に発音できた B: 何とか発音できた C: 発音が正確でなかった
		【スラッシュリーディング】 全文を和訳せず、本文の核となる5~6文のみとする。	センテンスグループにスラッシュを入れたスクリプトの一部を配付し、頭からわかりやすい日本語に直させる。	スラッシュごとに頭から日本語に直す練習をする。後ろから戻って訳すことをしない。	直読直解力	
		【英問英答】	英語で本文の内容に関する質問をしながら、内容を理解させる。	本文の質問に英語で答えること。 【ワークシート4・7】	英語で答える力	A: 3問正解 B: 2問正解 C: 1問正解 正解なし
		【音読】 ① コーラスリーディング ② バズリーディング ③ シャドウイング	それぞれ異なるリーディングを、パートごとにテンポ良く行う。	① 文章の内容を考えながら音読すること。 ② できるだけ速く大きな声で音読すること。 ③ 教員(またはCD)といっしょのスピードで音読すること。	正確に文章を音読する力	

6時間目~8時間目(コミュニケーション活動)

過程	時間(分)	【指導内容】 指導上の留意点	教師の活動	生徒の活動	本時でつきたい力	評価・達成度ABC
導入		【復習】要約 前回のポイントの確認	前回の重要事項をもう一度確認させる。	重要事項の復習 【ワークシート6】		
展開		【プレゼンテーション】 本文を暗記して発表する。作者の気持ちになって感情をこめて発表できるように	本文の1パートを生徒に選ばせ、暗記させて発表させる。教師が生徒の前でデモンストラーション	本文の1パートを暗記し、プレゼンテーションができるようにすること。(宿題として家庭で暗唱して	オーラル・インテグレーションの力(登場人物の気持ちになっ	A: うまく発表ができた B: なんとか発表ができた C: うまく発表できなかった

【ワークシート6】

Lesson 6のSummary (AETより)

Water is the most important substance in the human body. It makes up about seventy percent of your body weight. Without water, you can survive only for a few days. You need to take in at least two liters of water every day. You absorb about half of the water your body needs by drinking liquids and about a third by eating food. Also, your body itself produces the rest of the water it needs. You also get rid of wastewater as urine.

Different animals have different water requirements. A camel can survive an entire winter without water. A kangaroo rat drinks little water. It loses hardly any water through sweating.

Water covers about seventy percent of the earth's surface. However, almost all the earth's water is seawater. Fresh water is limited, but we humans waste and pollute it. It is about time to stop and consider how to save our precious fresh water.

【ワークシート7】

Lesson 6 内容理解のための英問英答

Part 1

1. What is the most important substance in the human body?
→ Water is.
2. What is the human body like?
→ It is like a water bag.
3. What happens if you lose even one or two percent of your body's water?
→ I [We] feel very thirsty.
4. What happens if you lose more than ten percent of your body's water?
→ I [We] die.

Part 2

1. To stay healthy, how much water do we have to take in every day?
→ (We need to take in) At least two liters of water.
2. What is the percentage of water in milk?
→ (It is) Eighty-seven percent.
3. What is the percentage of water in bread?
→ (It is) Thirty-eight percent.
4. How do we absorb about a third of the water our bodies need?
→ (We absorb it) From solid foods.
5. How do our bodies remove the wastewater?
→ (We remove it) As urine.
6. How does some water pass out of our bodies?
→ (It passes out of our bodies) As water vapor and as sweat.

Part 3

1. Name two animals that can live with little water in the desert.
→ A camel and a kangaroo rat.

2. How much water does a kangaroo rat drink?
→ It seldom drinks water.
3. What does a kangaroo rat eat?
→ It eats dry seeds and other foods with little water.
4. Does a kangaroo rat lose water through sweating?
→ No, it doesn't. It loses hardly any water through sweating.

Part 4

1. What can you see when you look at the world map?
→ You can see a huge amount of water.
2. Do we have enough drinking water?
→ No, we don't.
3. Is almost all the earth's water fresh water?
→ No, it isn't. It's seawater.
4. What do people do with water?
→ Many people waste and pollute it. / They have continued to use water carelessly as if there were an endless supply.

7 Oral presentation Evaluation Sheet

Evaluation	1 poor	The presentation must be improved.
	2 not good	The presentation is not persuasive.
	3 average	The presentation is so-so.
	4 good	The presentation is good.
	5 excellent	The presentation is excellent.

Please listen carefully and evaluate each presentation. Please write some comments about their presentation in English. You also evaluate your presentation.

Contents: Originality, Development, Organization (レシテーションの活動では評価せず)
English: Clarity, Rhythm, Use of Language
Delivery: Impressiveness, Humor, Persuasion, Eye Contact, Gesture, Facial Expression

Presenter Name () () points / 15 points

Please check the appropriate box.

	1	2	3	4	5
Contents					
English					
Delivery					

Comments:

Your name () ()

8 オーラル・プレゼンテーションにおける評価について

評価基準	評価基準
「書くこと」 ・あるテーマに関して introduction, body, conclusion を考えながら発表する要点を箇条書きに英語でメモすることができる。	4 構成に気をつけ、しっかりメモが書けた。 3 多少つじつまが合わなくてもなんとかメモを仕上げる事ができた。 2 メモは書けたが、うまくまとめられなかった。 1 メモを書くことができなかった。
「話すこと」 ・自分で書いたメモを見ながら 2 分程度で堂々とプレゼンテーションすることができる。	4 2分間堂々とプレゼンテーションできた。 3 2分間詰まりながらもプレゼンテーションできた。 2 1分程度は何とかプレゼンテーションできた。 1 まとまりのあるプレゼンテーションができなかった。
「読むこと」 ・プレゼンテーションの準備段階として、英語で書かれたテキストや新聞の記事を声に出して読むことができる。	4 ほとんど正確に読むことができた。 3 少し詰まるころはあったが、何とか読むことができた。 2 半分程度読むことができた。 1 正確に読むことができなかった。
「聞くこと」など ・友人のプレゼンテーションを聞き、内容についての質問をすることができる。	4 相手の話を正確に聞き取り、積極的に質問することができた。 3 正確に聞き取ることができたが、うまく質問することはできなかった。 2 相手の話がだいたい理解できた。 1 相手の話が理解できなかった。
「積極性」 ・プレゼンテーション活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションすることができる。	4 積極的にコミュニケーション活動に参加することができた。 3 積極的に参加したが、多少物足りない点もあった。 2 自分なりに積極的に参加したが、うまくコミュニケーションが取れなかった。 1 消極的になってしまい、あまりコミュニケーションが取れなかった。
「プレゼンテーションへの関心、意欲、態度」 ・アイコンタクト、ジェスチャー、フェイスチャイルクスプレッションに気をつけ、堂々とプレゼンテーションすることができる。	4 3点に気をつけてたいへん効果的にプレゼンテーションができた。 3 3点に気をつけて、何とかプレゼンテーションができた。 2 3点には気をつけたが、あまり効果的にプレゼンテーションができなかった。 1 3点に気をつけることができなかった。

・レシテーション・プレゼンテーションについて

本文の1パートを暗記してグループやクラスの前で発表することで、英語に対して自信を持つことができる生徒が多くなった。本文の内容に関する自分の意見をプレゼンテーションしてもらい、相互評価することでよい刺激を受けていた。この成果が、各種英語スピーチコンテストでよい結果を出せている。

・生徒の感想

英語で話すことを以前は重く考えていたが、みんなの前で発表することで、自信がついた。友達が英語を話しているのを聞いて自分もあんな風になりたいと思った。

図版2の学習指導案の授業の実践報告は次のようであった。

- ・それぞれの活動について自己評価させることで、生徒は自分の達成度を確認することができた。教師は生徒個々の様子とともに、クラス全体の傾向も確認することができるので、指導計画を反省して今後の指導に反映させることができる。
- ・ペアワークは全員が「積極的に活動できた」あるいは「何とか活動できた」と自己評価していた。

・今回は AET を活用して、英語を使う雰囲気を高めることができた。会話例を示すことが容易になったり、机間指導が充実したりするなど利点は大きい。

・生徒の感想

わからないことがあったけど、前後やわかる言葉で何とかわかった。でも、英語と触れあえてよかった。すべて英語だったので聞くために集中しすぎて疲れたが、とても意味のある授業だと感じました。

【図版2】

4 指導案

過程	時間(分)	生徒の活動	教師の活動	指導上の留意点	本時でつけた力	評価・達成度 A B C
導入	5	Warm-up ・日常的な挨拶や質問に英語で答える。 ・本時の目標を理解する。	・日付・曜日などについて質問する。 ・本時の目標を説明する。	・英語を使用する雰囲気をつくる。		
展開	20	Words and Phrases ・意味を確認しながら CD に続けて発音する。 ・定義に合う語句を答える。	・CD を1回流す。 ・英語での定義を聞かせて、対応する語句を答えさせる。	・発音の確認をさせる。 ・英語の定義から単語を推測させる。	・英語で単語の意味を理解する力	A:ほとんどの語を理解できた B:半分の語を理解できた C:ほとんど理解できなかった
		Warm Up ・趣味・興味に関わる会話の聞き、内容に合う絵を選ぶ。	・CD を1回流す。 ・答え合わせ。	・聞き取れる語句から話題を推測させる。	・話題を正しく把握する力	A:3問以上正解 B:2問正解 C:1問以下正解

		Task Listening ・趣味・興味に関わる3人の会話を聞き、話者とその興味を表す絵を対応させる。	・CD を2回流す。 ・答え合わせ。	・聞き取れる語句から話題を推測させる。	・話題を正しく把握する力	A:3問以上正解 B:2問正解 C:1問以下正解
		Focus Listening ・Task Listening中の英文のうち、重要な表現を含む文を聞き取り、() を埋める	・CD を1回流す。 ・英文スクリプトを配布。答え合わせ。	・興味・関心についての英語表現に注目させる。	・聞き取った英語を書き取る力	A:3問以上正解 B:2問正解 C:1問以下正解
	6	Pre-Speaking 1 ・Sports, Music, Movies, Collectionsのジャンルで、自分が興味のある項目をチェックする。 Pre-Speaking 2 ・チェックした項目について、相手が興味をもっているかをたずねる質問文を4つ書く。それぞれ異なる表現を使う。	・ワークシートを配付してチェックさせる。 ・語句の説明。 ・机間指導。	・ワークシートには教科書の項目とは別の単語を追加しておく。	・単語の知識	
			・ワークシートに記入させる。 ・机間指導。	・スクリプトを参照させる。	・新出表現を活用して英文を作る力	A:4文以上書けた B:3文書けた C:2文以下しか書けなかった
	8	Pair Work ・ペアを組み、Pre-Speaking 1で作った4つの質問を使って相手の興味をたずね、ワークシートの表に記入。ペアを変えて活動を続ける。	・机間指導。	・相手の目を見て、問い・答えが伝わっていることを確認させる。	・積極的に相手に問いかける力 ・相手の考えを理解する力	A:積極的に活動できた B:なんとか活動できた C:ほとんど活動できなかった
	8	Presentation ・自分の興味とクラスメートの興味を、メモを元に全体に発表する。 ・発表の記録をする。	・必要に応じて質問して、発表が続くようにする。	・発表時以外は集中して聞くように記録させる。	・情報をまとめて発表する力	A:積極的に活動できた B:なんとか活動できた C:ほとんど活動できなかった
まとめ	3	Review ・自己評価。 ・次時の内容確認。	・本時の活動のポイントと全体的な評価を伝える。	・学んだ事柄を振り返らせる。		

◇は教科書の学習項目を表す。

5 教師の英語指示例

導入

Good morning, class. I'm glad that everyone is here. How are you today? (Student), how are you?
 (Student: I'm fine. How are you?)
 So, so. Actually I've had a cold since last weekend. I don't have a fever, but I have a soar throat. So I take medicine three times a day to cure it.
 Is there anyone who has a cold? No one? You are lucky.

Now, before we start today's lesson, I'd like to ask you some questions. Please try to answer them as quickly as possible. Are you ready?
 (S: Sure!)

What is the date today?
 (S: October 28th.) October 28th. Good.

What day of the week is it today?
 (S: Tuesday.) Tuesday. Very good.

What time is it now?
 (S: 10:55.) 10:55. Well done.

Look at me, please. What color is my shirt?
 (S: Blue.) Yes, I wear blue shirt.

Then what is the color of my handkerchief? Please guess.
 (S: Red. / Yellow. / White.) It's white. Good guess.

Then, about today's schedule. What is the lesson in the next period?
 (S: P.E.) P.E. That's right.

Do you like P.E.?
 (S: Yes.) All right. Until then, let's study English, shall we?

Now, open your textbook to page 62.

The topic of today's lesson is 'Talking about Your Great Interests.'
 I'm sure you are interested in something. Please think about your interests or hobbies.

In this lesson, I'd like you to do 3 things as follows:

- 1) to learn words and phrases to use when you talk about your interests
- 2) to talk about your own interests with your friends
- 3) to prepare and present a speech about your interests and your friends' interests

展開

Now, Words and Phrases. Listen and repeat after the CD.
 (CD Listening)

I will tell you English definition. Try to say the English word or phrase. Ready?
 To be very interested in something.

(S: Crazy.)
 12 o'clock at night.

(S: Midnight.)
 You do something because you enjoy it and not for any other reason.

(S: Just for fun.)

To use a computer to look through information on the Internet.
 (S: Netsurf.) Very good.

Now, Warm Up. A pair of friends are talking with each other. Listen to their interaction and select the topic they are talking about from the pictures below. Listen and write your answer.
 (CD Listening)

Let's check the answers.

No.1. What is your answer? (Student), please answer. (S: (c)). Good. No.1 is about collecting foreign coins.

No.2. The answer is, everyone? (S: (b)). Very good. No.2 is about tennis.

No.3 is about computer games. The answer is, everyone? (S: (d)). Fine.

No.4 is about Celine Dion's concert. The answer is (a).
 Is there anyone who could get perfect score? If you could get full mark, raise your hand, please?
 Good job.

Let's go to Task Listening. Here, Miwa and Anne are talking in the school cafeteria. Then Lou joins them. Listen to them and draw a line between the person and what she or he is interested in.
 (CD Listening)

Let's check the answer.

About Miwa, what does she like? (Student), please.
 (S: She likes watching baseball games.) Right. Miwa likes watching baseball games.

What is Lou interested in? (Student), will you answer?
 (S: He is interested in playing chess.) Good. Lou is interested in playing chess.

What is Anne crazy about?
 (S: She is crazy about playing lacrosse.) OK. Anne is crazy about playing lacrosse.

Does Danny spend much time netsurfing? Everyone, answer.
 (S: Yes, he does.) Yes, Danny spends most of his free time netsurfing.

Now, Focus Listening. Let's listen to the CD again. Try to fill in the blanks in the following sentences.
 (CD Listening)

Then, I'll give you a script. Correct your answers with your red pen.

Do you notice that some sentences are underlined in the script? They are useful to talk about your interests. Let's read aloud. Repeat after me.

(Ss read the underlined sentences aloud.)

Now I'll give you a handout for the activities. Here you are. Pass them on.

First, Pre-Speaking. Check what you are interested in among the following areas, Sports, Music, Movies or TV programs, and Collections.
 (Ss check items on the handout.)

Have you finished? Then write four questions to ask if your friend is also interested in them. Try to ask your questions in different ways.
 (Ss write questions on the handout.)

Now, Pair Work. Make a pair and ask questions in turn. Use the four questions you wrote in the Pre-Speaking Activity. Write your friends name in the chart after getting an answer. Everyone, stand

(3) ワークシートの生徒記入例
 <生徒記入例>
 Unit 8 Topic A: Thinking about Your Great Interests

★ Your Interests Check one of the items in each genre and explain.

Sports: basketball track and field baseball tennis volleyball
 soccer swimming skiing softball handball
 badminton table tennis judo kendo sumo kyudo other

Music: classical jazz folk rock pop other

Movies: horror action comedy SF war romance mystery
 adventure animation documentary other

Collections: postage stamps foreign coins CDs books character goods
 antique other

★ 4 questions in different expressions

1. Are you crazy about playing tennis? _____

2. Do you often listen to pop music? _____

3. Are you interested in mystery movies? _____

4. Do you collect character goods? _____

★ Pair Work

Your Interest	Who like it	Who don't like it
1 tennis	Yukiko	Satomi. 0
2 mystery	Yukiko Satomi. 0	
3		
4		

★ Your Presentation Note

I am crazy about playing tennis.
 Yukiko is also crazy about it. But Satomi doesn't like it.
 I am interested in mystery movies.
 And Yukiko and Satomi are also interested in it.

Class _____ No. _____ Name _____ Check _____

7.2 速読

授業において速読を練習している教室は少ない。速読を的確にできるためには、目の動かし方とプロソディーを理解する必要があり、練習回数を多くとることが重要である。大学入試センター試験の大問6のような900語前後からなる長文を短時間で読み取るためには速読力を高める必要がある。

日頃の授業では、英文が書かれているように左から一語一語読むことに慣れてしまっているが、図版3にあるように、黒いドットに目の焦点を当て、読んでいく練習を積み重ねることが大切である。

図版3

One day in 1984 / a newspaper article came / to the attention / of
 a member of the student council / of Kochi Commercial High School.//
 The article said / that schools were in short supply / in Laos.//
 He talked about this / in a meeting of the student council.//
 The members were interested in the story / and decided to join
 a project of the Kochi Laos Association / to build schools in Laos.//
 They began to collect money / through donations and bazaars /
 held in the school festival.//
 The money they collected in two years / was about 1.2 million yen.//
 They sent it to the Laotian Ministry of Education /
 by way of the associations.// The ministry used the money / to build
 two primary schools in Laos.//

7.3 Retelling

図版4に見るように、教科書の本文とは別の英語でペアワークで retell させる。その後、所定のワークシートの枠のなかに作文させる。この活動で、リーディング、

スピーキング、リスニング、ライティングの4技能を統合的に指導することが可能となる。

図版4

Retelling

Why do cats purr?

Most people think cats purr because they are happy. They certainly do purr for this reason. Cats purr when they are eating food or resting on our laps. But purring doesn't always express happiness. Cats also purr when they are sick or injured. Cats purr when they are feeling something really deeply.

Cats make other sounds, too. They use up to 16 sounds meaning different things. For instance, a little trill means that cats are pleased to see you, and hissing means that they are feeling threatened.

Now, do you understand cats a little better?

(ONE WORLD Communication 1 Lesson3 part 3)

Retelling をパートナーに口頭で伝え、その後3行程度で書いて下さい。

7.4 Summary

図版5に見るように、教科書本文の内容を要約させることで、概要や要点の正確な把握を確認できる。この活動も、ペアワークで、まずは口頭で発表し合い、その後所定のワークシートの枠の中に、作文させる。生徒の学力に応じて、文の数を3~5文とすることで、取り組みやすくなる。

図版5

Summary

ペアで、まず口頭で発表し合い、その後3行程度で書いて下さい。
 下に上げたキーワードを使って、本文をわかりやすくまとめなさい。

purr happy reasons deeply other sounds

7.5 さまざまな言語活動

7.5.1 呼吸の仕方と音の出し方

目標：個々の母音の音とイントネーションの練習

準備：特になし

手順：1. 生徒をたたせる。

2. 息を吸い込むよう指示する。息を吐く時に特定の母音を言わせる。
3. 母音が正確に出たか確認する。たとえば、/ə:r/を出すと、この語を含む語を挙げさせる。bird, heard, early, world, work, her など。その後、それらの語を板書する。

7.5.2 ペアになって質問応答活動

これは、日常ありそうな状況を設定し、その内容についてペアでコミュニケーション活動をさせる。その際、生徒に使わせたい語彙や表現を指定することも可能である。生徒は英語で質問することに慣れていないため、質問文を作らせる練習が必要である。自然なコミュニケーションには必ず質問が伴うことは明らかである。

1. You're on holiday abroad and you lose your passport.
2. You're in a taxi and you discover that you have no money.
3. You're lost in a strange town.
4. You see someone stealing a car.

使わせたい語彙・表現

what, should, good idea, 命令文

7.5.3 タスク (ペアワーク)

この活動は、日頃教室で身近なタスクを行わせることをしていないので、教師たちに理由を尋ねると、うまく状況設定ができないと漏らしていたので、簡単なものを紹介しておく。

1. Passenger and steward
Buy a coffee. Ask what sandwiches there are. Choose one. Pay. Ask what time the train arrives at its destination.
2. Passenger and waiter
Ask what time dinner is served until. Ask how much it costs. Ask what is on the menu. Ask if the train is on time.

7.5.4 即興活動

生徒はペアになって、1~3のような状況設定をして、即興で会話を行う。会話を行った後、クラス全員の前で発表させる。

1. A policeman stops a car. The driver has no license.
2. An immigration official is talking to a traveler. The traveler has no passport.
3. A theater manager is talking to a theater-goer. The theater-goer has no ticket.

7.5.5 関連づけ活動

Birthdays connections

目標：生徒の誕生日を他の出来事と関連づけさせる。序数と日付の練習にもなる。

準備：生徒は日付を英語で言える。事前に序数と日付の語順を教える。

生徒をたたせて、円をつくらせる。

他の生徒の誕生日がいつかを見つけ出させたいことを伝える。

お互いの名前を尋ねることから始める。

例 Teacher: Takeshi?

Takeshi: Yes?

Teacher: When is your birthday?

Takeshi: The fourteenth of June.

他の生徒たちに武の誕生日と関連づけの発話をさせる。

例 Teacher: The fourteenth of June? That's one week before my sister's birthday.

関連づけは、何でもよい。フェスティバル、国民の祝日など

It's the same day as....

It's the day before/after....

It's a week/two weeks before/after....

宿題として、他生徒たちの誕生日と人間、出来事、お祝いなどと関連づけて1パラグラフの作文を書かせる。

7.5.6 Actions and locations:

where are you and what are you doing?

目標：現在進行形と電話の英語を学ぶ。学習した文法項目を使用してコミュニケーション活動をさせる。

準備：携帯電話2台、箱2個(1つに{A}, もう一つに{L})と書いておく。生徒は、ペンと2枚の紙

を用意する。

- 手順：1. 1枚の紙に場所を書く。例：on the table と板書。他の前置詞を使うよう促す (in, under, near, behind, next to など)。紙を折り，**II** と書いた箱に入れる。
2. 別の用紙に行動を書かせる。その行動は現在進行形にする。文法的な説明は避ける。黒板に，I'm eating a biscuit. と書く。1人称で書くよう指示する。動詞，目的語を必ず入れる。紙を折り，**IA** の箱に入れる。
3. 2名の生徒を前へ呼び，教卓の両側に立たせ，それぞれに携帯を渡す。普通の電話での会話をするよう指示する。Hi, how are you? など。最終的に，一人，Student A が Where are you? と質問させる。Student B は質問されたら，**II** の箱から用紙を1枚取り出し，書いてある言葉を読む。例えば，On the beach. Student A は即座に And what are you doing? と質問する。Student B は **IA** の箱から1枚用紙を取り出し，書いてある言葉を読む。例えば，I'm painting a wall.
4. できれば，Student A にさらに詳細について質問させる。
5. 役割を交代し，同じ2つの質問をする。Student A が用紙をとり質問に答える。
6. 他の2名に携帯を渡し，同じことを繰り返す。

7.5.7 Hobbies and locations

目標：好き嫌いを述べること，質疑応答をすることの練習

準備：2個の箱に **IHI** (Hobbies) と **III** (Locations) と記す。生徒はペンと2枚の用紙を持つ。

- 手順 1. 1枚の用紙に場所名を書かせる。用紙を集め，**III** の箱へ入れる。
2. もう1枚の用紙に hobby を書かせる。(例：collecting stamps) 生徒に書かせる前に，ブレインストームし，趣味に関する動詞を多く黒板に書かせる。(例：collecting, reading, visiting, watching, making, painting, drawing など)
- 生徒に-ing 形を使うよう指示する。

注：場所をまず先に書かせること！

3. 用紙を集め，**I** の箱へ入れる。
4. 2つの箱を教卓へ置く。1名の生徒を前に来させ，**IHI** の箱から1枚用紙を取り出させる。生徒に書いてある趣味を読ませる。(My hobby is painting pictures.) 次に，**III** の箱から用紙を1枚取り出させる。書いてある場所を付け足させる。(My hobby is painting pictures in the bathroom.)
5. 席にいる生徒たちは，その生徒に，その場所でなぜそれをするのが好きなのか質問させる。奇妙な組み合わせができるとおもしろい。生徒は普通でない場所で趣味をするのはなぜか理由を即興で答えなければならない。

例：Why do you like painting pictures in the bathroom?

Because there's a lot of light there.

7.5.8 Blocking activities

目標：欲しない要求や招待を礼儀正しく断る方法を学ぶ。これは自分の意思をはっきりと述べる態度を養うこと，特に自分がそうしたくない時に英語で断る方法を練習させる。

I'm afraid I can't. を使用させる。

準備：ペンと紙を用意する。

手順 1. 紙に3つの招待を書かせる。

例：Would you like to come to the cinema tonight?

Would you like to have a coffee after class?

Would you like to watch a DVD with me?

2. 生徒に教室を回らせ，別々の生徒に招待を言う。招待をされたら，断り，理由を述べさせる。

例：A: Would you like to come to the cinema tonight?

B: I'm afraid I can't.

A: Why not?

B: I have a lot of homework.

3. 今度は B が招待を言い，同様に丁寧に断る。
4. A, B とともに，招待文の下に断る理由を書かせる。

7.6 文法指導

文法指導については、新学習指導要領に次のように記されている。「文法は、基盤として必要であるが、文法をコミュニケーションと切り離して考えたり、この二つを対立的な事項としてとらえたりしないことが大切である。実際の指導においては、文法の用語や用法等に関する説明は必要最小限としつつ、当該文法を実際に用いて言語活動を行うことに慣れ親しむことができるよう、当該文法を用いた多用な文を聞いたり読んだりする活動を行ったり、話したり書いたりする活動の中で、新しい文法事項を積極的に用いることを奨励したりして、文法をコミュニケーションに活用することができるようにするための授業を行うことが重要である。」

これまでのように文法用語を多用して、困難さを増したり、文法のための文法を教える授業は控えることが肝要である。

また、大学入試問題集を使用し、その中で扱われている文法問題を解答することで文法が理解できたということがないように注意することが大切である。文法はコミュニケーションの下支えとして、学習した文法項目をできるように、上手にその文法項目を使わなければならないような状況設定をし、言語活動をさせることが大切である。

8. まとめ

現在英語教員が抱えている問題や課題、英語の授業の現状などを具体的に明示してきたが、一足飛びに解決できるものではなく、時間を掛けて徐々に解決されていくものとする。英語教員の英語力向上、指導技術・授業力の向上のための研修をできるだけ数多く受けることにより、また、各学校内での授業参観を頻繁に行うことにより、英語力や授業力に関する問題や課題の共有とその解決の方法や授業改善が行われるものと信じている。さらに、諸方面で英語教育理論に基づいたさまざまな実践的な指導法の研究と開発に取り組む必要があり、筆者も新学習指導要領が強調している、英語によるコミュニケーション能力を身につけさせる効果的な指導法の開発に継続的に取り組みたいと考えている。

参考文献

Seymour, D. & Popova, M. (2003) 700 Classroom Activities — Instant Lessons for Busy Teachers, Macmillan Books

for Teachers.

Ur, P. & Wright, A (1992) Five-Minute Activities — A Resource book of short activities, Cambridge University Press.

Wilson, K. (2008) Drama and Improvisation, Oxford University Press.

参考資料

文部科学省「英語が使える日本人」の育成のための行動計画。(2003年3月)

文部科学省「国際共通語としての英語力向上のための5つの提言と具体的施策」(2011年6月)

文部科学省「学習指導要領解説 高等学校 外国語編英語編」(2009年12月)

旺文社 Planet Blue Oral Communication I Revised Edition Unit 8 (2008年1月)

教育出版 ONE WORLD Communication English I Lesson 3 & 9 (2012年1月)

東京書籍 Power On English II Lesson 6 (2008年1月)